

2019年4月を迎えて～新年度への提言

株式会社ルピナス新潟 代表

斎藤内科クリニック 院長 斎藤 忠雄

【理念】

- ・居心地の良さと居場所の良さを提供する
- ・居心地の良さと家族、居場所の良さと家～ご家族の代わりに居心地の良さと居場所の良さを提供する
- ・一人暮らしでも、高齢世帯でも、認知症でも、がんの末期でも住み慣れた地域で最期を生きることができる
- ・そのためには、医療、介護、福祉、行政の連携を図り、ご利用者様、仲間そして自らを大切にす

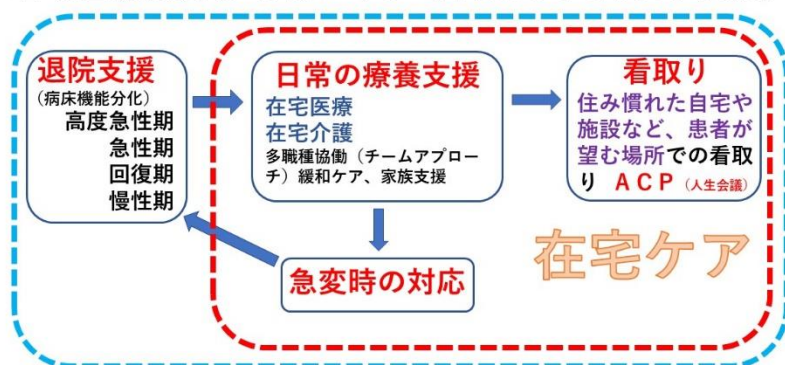
「理念」とは、目指すものへの「思い」があり、それを実現するための「手だて」が述べられたものです。

その中で、忘れてはならないことが3つあります。

- ① 利用者さん、②仲間、③自分 これら3つを大事にすることです。それぞれが同等で、どれ一つとして順位はなく、バランスの上に成り立っています。

【地域医療構想：まちづくりとしての在宅ケア】

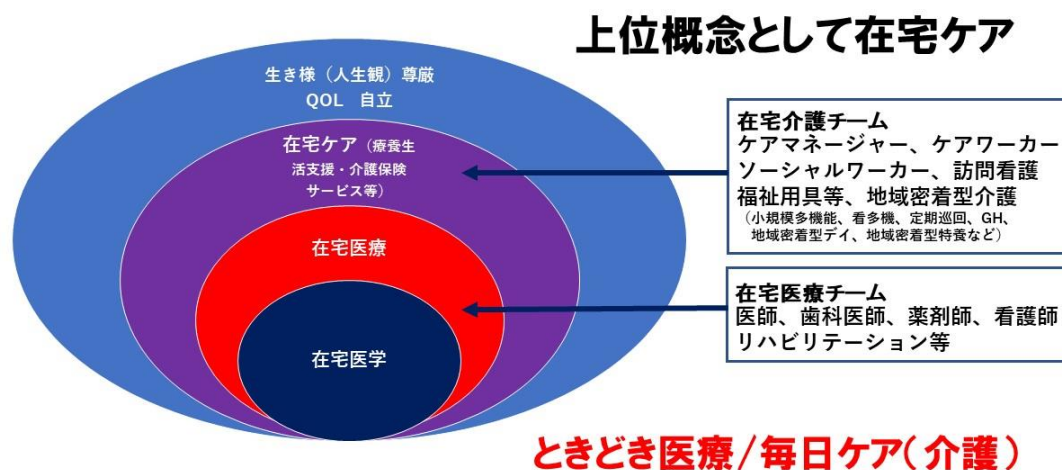
地域医療構想は地域づくり（平成30年4月より実施）



2014年（平成26年）に成立した医療介護総合確保推進法で提案された地域医療構想とは、2013年度の医療需要量を基準として、団塊の世代（昭和22年

～昭和 24 年生まれ) が 75 歳の後期高齢者になる 2025 年度の各都道府県の二次医療圏での医療の必要量を推定し、病院でどれくらいの病床が必要かを算定することとされていますが、本来の意図するところは、地域ごとに必要な医療をみんなで考えること、いわゆる医療という安心のある「まちづくり」のためにはどのようなネットワークが必要かを考えるきっかけになるということです。その際の、在宅医療体制を示します (図)。

在宅医療は在宅ケアに包括される



『るぴなす』は、地域密着型デイサービス、看護小規模多機能型居宅介護事業所、居宅介護支援事業所、訪問看護ステーションから構成され、2006 年開設当初から設立母体の斎藤内科クリニックとともに医療・介護・看護の連携した多事業所協働の支援態勢を整えてきました。QOLのL: life は、いのち、生活、そして人生 (いきざま) という意味があります。いのちや生活を見ることはもちろん、その方の人生をより良きものとする支援、それを目指していきたいと思いません。

各事業所においては、抽象的な表現 (妄想) でもよいので、まず目標を立て、そのための課題を探しながら実行し進んでください。対象者のみならずご家族、そして地域とどのように結びつけばよいのかについて計画していただくことをお願いいたします。